

磐城時報

七日 磐城時報 印刷部 印刷所 磐城時報社 印刷部 印刷所 磐城時報社 印刷部 印刷所 磐城時報社

石城に對する縣稅は

賦課標準を誤つてゐる

家調第二次委員井上茂作氏が

八分減額決議の理由を語る

家屋賃借價格第二次調査委員會に於て平町代表野崎滿藏、井上茂作の兩氏は平町のために奮闘した事前號所載の通りであるが、石城郡の第二次委員會が縣の修正案に對し八分の減額を主張し、議長である縣岸田主事が承諾せぬにも拘はらず八分減額を決議したについて、委員井上茂作氏は語る。

陳情の協議

家屋賃借價格について

「石城郡に對する各種縣稅賦課案に對し一割五分減を最後まで課率は殆んど全部誤つてゐる。主眼は石城郡が炭礦好況時代と同様裕福な土地である。誤認し、現在に於ては悲況に沈淪してゐるのに對して、往陳情する方法について協議する年の標準によつて課税せんと事になつた。

十六年間無火災の

夏井村に火事

獎勵金交附の資格を失ふ

石城郡夏井村大字菅波農業庄司十二年から毎日同村に金五十圓を義源方から六日午後十一時五十分宛を交附してゐたが、今回の火災で、分發火居宅物置を合せ三棟を全壊で交附金の支給をうけられぬ。燒し七日午前一時鐘火したが、ばかりでなく將來八ヶ年間無火災原因は風呂場の殘火である、夏井村は夏井村に火事、井村は大正四年五月以來十六年間に於ては立派にあり乍ら不始末の火を出村で、縣では表彰の意味で大正したので批難されてゐる。

井上茂作氏

理事に當選

平消防組頭井上茂作氏は今回財団法人組織となつた縣消防協會の執行機關である理事選舉の評議員に選ばれた事は既報の如くであるが五日福島市に於て評議員會を開き理事選舉を行つた結果濱通りから井上茂作、宗像孝三の兩氏が理事に當選した。

丸新旅館の心中者

兩名共助かる

親の許さぬ戀仲

平町田町丸新館でカクモテン心中を圖つた自稱長野縣警部平野町矢勝義人(二六)同人妻ゆき(二七)の兩名は手當の結果何れも意識回復し一命を取止めた。平署では取調を行つたところ長野縣とは嘘で山梨縣東八代郡北八代村大字大庭ミシノ外交易矢崎政教(二八)同村岡部製糸場女工古屋ふみよ(二七)の兩名を判明したが、兩名は以前から親の許さぬ戀仲となつてゐた。最近ふみよは實家から工場を休み田圃手傳ひに來いといはれ政教に會へなくなつたので去月廿七日兩名は手に手をとつて駆落各地を歩き廻り金につまつてお定まりの心中を圖つたもので六日國許に對し平署から身柄引

心中者の首實檢

平署警署に六日午後二十時前後の男が訪れ平町田町丸新旅館で心中を圖つた男女は私の兄達かも知れませんから是非會はせて下さいと願出たので事情をたづねると同人は田村郡三春町橋本一夫(二〇)假名といひ同人の兄勝一(二三)は同町某旅館の娘跡左の如く警署警務チームが優

田卷、長瀬、綿引の三君 自轉車で全國を旅行 來る十三日平町出發

平町字二丁目田卷酒之助氏九似でもつかぬ者だつたので同人男田卷重三(二三)同字一丁目長瀬次郎氏長男長瀬一美(二二)同綿引秀親氏長男綿引亥三男(二〇)の三君は身心鍛練を目的の執行機關である理事選舉の評議員に選ばれた事は既報の如くであるが五日福島市に於て評議員會を開き理事選舉を行つた結果濱通りから井上茂作、宗像孝三の兩氏が理事に當選した。

第二期成績

平職業紹介所

平町職業紹介所本年第二期(四月より六月まで)の取扱ひ成績は求人男三百二十四、女四十三、求職男二百四、求職女四十一、計二百八十五、就職男百十五、女二十一、計百三十六、前年同期に比し求人二百が押え取調べた處この男は當時四十三、求職二百十五、就職五十八の各増加を示し、如何にも好成績であつた如くに見えるがひ去る七月一日午前三時頃平町本年の例の求人開拓があつた結果探炭夫の一時的申込みが忍び入り店先の手提金庫の中あつた結果である、就職者を職から現金十一圓夜光時計價格十業別に見れば鑛工業が五十二、土木建築十七、商店十二、農業十七、家内用人七等が主なるものである。

小田炭礦 作業開始

石城郡好間村字上好間小田炭礦採原礦業部では過般新坑に出る水以來至山の採炭事業を休んでゐたが、五日から舊坑の採炭事業を開始した、新坑は目下排水中で近く事業に着手する筈である、尚行衛不明になつた坑夫三名の死體は未だに發見されな

梅月の泥棒 公園で捕はる

五日夜平町松ヶ岡公園を徘徊し六で、前年同期に比し求人二百が押え取調べた處この男は當時四十三、求職二百十五、就職五十八の各増加を示し、如何にも好成績であつた如くに見えるがひ去る七月一日午前三時頃平町本年の例の求人開拓があつた結果探炭夫の一時的申込みが忍び入り店先の手提金庫の中あつた結果である、就職者を職から現金十一圓夜光時計價格十業別に見れば鑛工業が五十二、土木建築十七、商店十二、農業十七、家内用人七等が主なるものである。

石城スポンヂ野球 磐炭チーム優勝

石城郡下スポンヂ野球大會は六日午前八時から平町警署中學校第一校の球場で舉げたが、磐炭チームが優勝した。

▲勝	二葉舎	9-4	▲負	四倉	3-0
▲勝	南町A	7-3	▲負	南町B	2-1
▲勝	磐炭	21-4	▲負	好球	5-0
▲勝	平町A	4-3	▲負	二葉舎	4-3

牛乳搾取

石城地方の中以下の農民は今春の如き米價安に次いで藪の慘落

を招いた場合は一朝にして奈落のドン底に就かされるので郡農會方面ではこれが原因は一に副業の極めて幼稚な結果からであらうと見做し、副業の奨励について腐心中であるが、然し現在の如き疲弊してゐる農村に對しては机上の空論に過ぎるやうな副業の奨励は却て農民に負擔を大にするばかりであるといふので、いはゆる産業合理を中心とした合法的副業を研究中心としたがいよいよこの程に至り本縣における牛乳の搾取販賣は獨り業者のみに限られてゐるも他縣において寧ろこの制度は産業を破壊するものであるとなし産牛(農牛)より搾取した牛乳を盛んに農民が販賣してゐる故に本省でもこの方法を速かに採用し農民の福利を計る事の運動をなし、實現の場合は低利の特許を受けて専業者と提携の上牛乳の販賣を試みる事第一案を得たので、近く縣農會に對して運動の第一歩を試みそれによつて縣當局に猛運動を試みるこゝとなつたが、産牛よりの牛乳搾取販賣について平署の土屋獸醫技手は語る。静岡、千葉の兩縣では農民が搾取して牛乳を一定の場合に持集り(場所によつては共同搾取)検査の結果特定販賣會社に供給し好成績を納めてゐるが、本縣では縣令で業者のみに限ることゝ制定されてゐる故、たゞにこの方法を採用する譯にはいかぬ、しかし内務省方面では暗に奨励してゐるから運動如何に依ては實現するものと思ふ、現在の如き疲れてゐる農民を救助するにはこの方法によるより外には途はないと思はれる。

